

第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと合わせてご活用ください。

～低迷が続いてきたわが国の雇用・所得環境の今後の改善見通し。

2010/6/25 「最悪期を脱した雇用・所得環境の展望～雇用過剰感の解消や団塊退職により、2012年から回復感が強まる公算～」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～ギリシャ危機に始まった欧州市場の動揺の今後の展開を考えます。

2010/6/23 「不安の連鎖はいつまで続くのか～混乱の中心はユーロ圏から中東欧へ～」

掲載カテゴリ：鳥峰義清の「マーケットウォッチング」

～政府が決定した財政運営戦略で描かれている 2023 年までの中長期計画を読み解きます。

2010/6/24 「財政運営戦略の隠れたハードル～消費税増税に依存するシナリオ～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～子ども手当への影響、産業別の調査統計から今年度各セクターの業績動向を予想します。

2010/7/2 「再考 子ども手当の影響～子育て世帯を意識した給付付き税額控除導入が望まれる～」

2010/6/22 「4－6月景気予測調査から見た業績見通し～新興国の恩恵が自動車・電機から素材や設備投資関連へ波及～」

掲載カテゴリ：永濱利廣の「エコノミック・フォーカス」

～ユーロ問題に揺れる欧米経済、注目の新興国経済について解説しています。

2010/6/23 「米国 欧州債務危機の悪影響は金利低下や新興国経済好調で相殺～欧州債務問題の金融危機への拡大がリスク要因～」

2010/6/23 「それでもユーロ圏は拡大する～嵐の中の門出：エストニアのユーロ導入が意味するもの～」

2010/6/23 「マレーシア経済事情：次期5ヵ年計画で所得5割増を目指す～さらなる成長率向上には、『新経済計画』に掲げる構造改革の両立が望まれる～」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

編集後記

エコノミストのコメントがマスメディアで紹介されると、それについてご意見やお問い合わせをいただくことがある。日頃の経済レポートの執筆にあたっては、極力誤解のない形で読み手に意図が伝わるよう努めている。一方、取材ほかメディア経由の場合には、長いコメントの一部だけを使っていただくようなケースもある。細心の注意を払っても、言葉の断片がさまざまな意味合いを帯びてしまう可能性は否定できない。ここではどこを切っても意図とかけ離れたものにならないようにお伝えすることが一番大切になる。

選挙戦で政党がさまざまな経済政策を掲げ、国民に問うようになったのはまさに時代の要請である。ただ、先の例と同様、経済の仕組みに則って政策を説く場合には、最低限の具体的かつ正しい説明は不可欠だ。政策の打ち出しが単なる経済キャッチフレーズに終われば、言葉の一人歩きでミスリードが必ず生じる。国民の側でも「経済の理屈」の真偽を見極めていくことが政治に対するけん制の上で重要だ。エコノミストは経済政策を吟味し、公平に分かりやすく説明することを特に心がけなければならない。（H. U）